

第5章 推進体制と進行管理

1 推進体制

2 進行管理



産卵を終えて海に帰るアカウミガメ

1 推進体制

1) 市民の役割

市民の方々には、生物多様性の恵みが私達の生活を支えていることを認識し、生物多様性に配慮したライフスタイルを実践することが望まれます。また、家族や特に子どもたちへ自然の大切さを伝え、自然や生きものとのふれあいの場づくりをはじめ、地域内外でのさまざまな生物多様性の保全・再生の活動に参加することが期待されます。

2) 市民団体の役割

市民団体には、市内の生物多様性の保全・再生・創出に資する活動を組織的に実施するとともに、行政や事業者等の活動への提案が期待されます。また、団体の特性に応じて、生物多様性に関する情報、体験や学習の機会の提供に努めるとともに、保全活動に取り組む人材の育成や生物多様性に配慮した活動を推進する取組などが期待されます。

3) 事業者の役割

事業者には、生物多様性の保全に配慮した事業活動が求められます。生物多様性のさまざまな恵みによって事業活動が実施できることを認識し、その状況を示していくとともに生物多様性の保全・再生に資する社会貢献活動や、その現場を担う市民団体等への支援等が期待されます。



市民による話し合い。(ワーキンググループ会議)

4) 教育機関等の役割

保育所では、保育や教育の中に自然と関わる遊びや学びの活動を推進し、豊かな感性や生命を大切にする心を育むことが期待されます。学校においては、いすみ市の生物多様性に誇りと愛着をもち、主体的に行動できる子どもを育みます。郷土資料館などの社会教育施設を含むすべての教育機関において「生物多様性ステーション(仮称)」や地域団体・専門家等と連携して、生物多様性に関する教育普及の活動を推進します。

5) いすみ市の役割

いすみ生物多様性戦略を着実に実施するためには、第4章の未来への対策と取組に記載した各事業を担う担当課が責任を持って実施するとともに、単独の課では困難な施策・事業については、各課間で密接に連携して取り組む必要があります。

また、生物多様性の大切さの市民への普及啓発と国や千葉県・他自治体や関連機関への働きかけと連携・協力を進めていかなければなりません。特に隣接する市町村等との連携や協力も重要です。



ワーキンググループ会議分科会

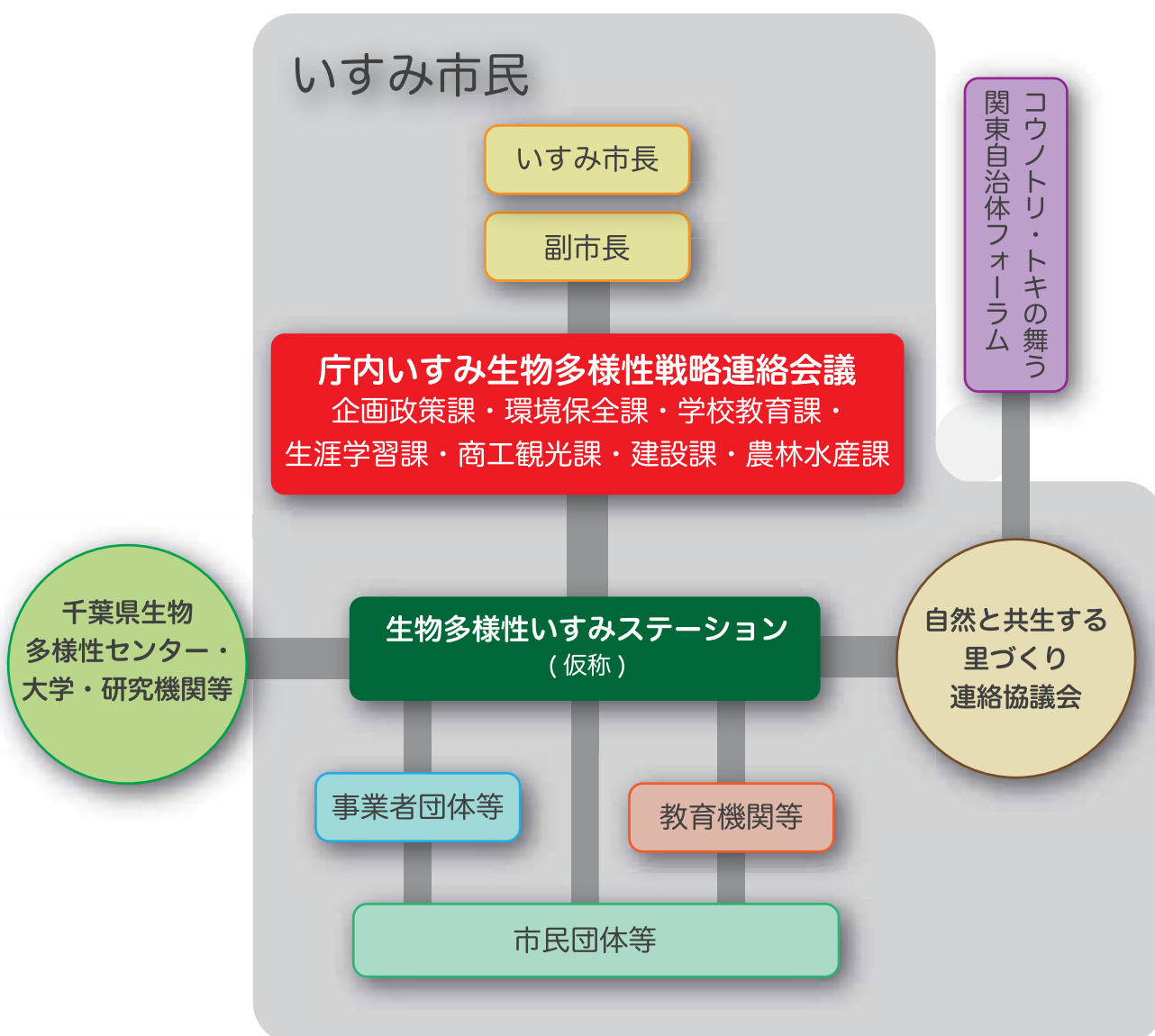
①庁内いすみ生物多様性戦略連絡会議

市役所内に、副市長をトップとする関係課による庁内いすみ生物多様性戦略連絡会議を設置します。この連絡会議を定期開催し、施策・

事業の進捗状況の確認の他、施策・事業を実施するうえでの課題を共有し、戦略の着実かつ効果的な実施を担保していきます。

庁内いすみ生物多様性戦略連絡会議

副市長	いすみ生物多様性戦略推進の総括
企画政策課	生物多様性を守り、持続的に活用していく政策の企画・立案等
環境保全課	環境保全・河川等の水質保全等
学校教育課	学校における自然体験・環境学習等
生涯学習課	保育所・公民館での自然体験・環境学習、文化財保護等
商工観光課	生物多様性を活かした産業の振興等
建設課	生態系に配慮した緑地管理・河川管理等
農林水産課	農林水産業における生物多様性の持続的利用等
事務局	生物多様性いすみステーション（仮称）



② 生物多様性いすみステーション（仮称）

庁内いすみ生物多様性戦略連絡会議の事務局を務める市役所職員が担当し、生物多様性の啓発及び保全・再生に向けた以下の業務を行います。

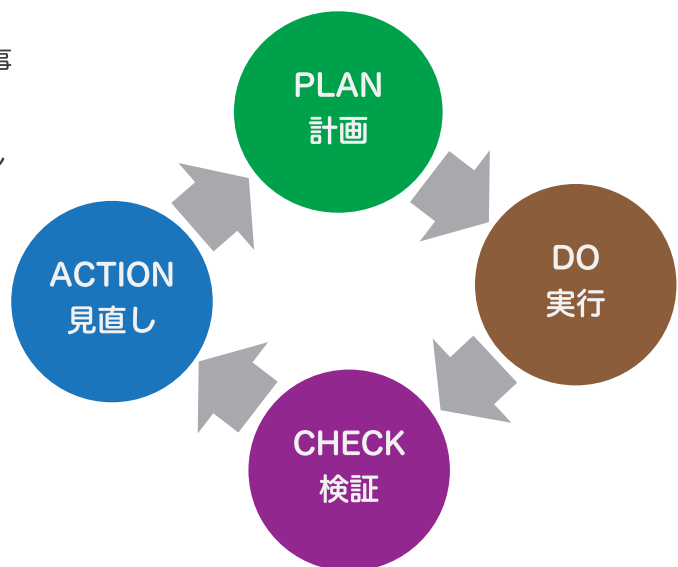
業務内容

- ・ 庁内いすみ生物多様性戦略連絡会議の運営
- ・ いすみ生物多様性戦略の進行管理
- ・ いすみ市の生物多様性にかかわる資料・情報の収集・管理・活用
- ・ 希少種の保護にかかわる施策の立案・実行
- ・ 外来種・鳥獣害にかかわる施策の立案・実行
- ・ 生物多様性にかかる教育普及活動や民間団体との連携、活動のサポート
- ・ 千葉県生物多様性センターや千葉県いすみ環境と文化のさとなどとの連携
- ・ その他生物多様性保全にかかわること

2 進行管理

生物多様性いすみステーション（仮称）が事務局となり、庁内いすみ生物多様性戦略連絡会議の中で、PDCAのマネジメントサイクル（右図）により進行管理を行います。

また、この戦略の内容についてはおおむね5年ごとに見直します。第1回目の見直し改訂は2020年度の予定です。



いすみ人と学ぼう⑬

いすみ生物多様性戦略ができたので、 いすみ市はもうだいじょうぶですね？

市民の皆さんのご意見をもとにいすみ生物多様性戦略をまとめることができました。しかし、この戦略が実践されなければ、策定した意味はありません。

「生物多様性いすみステーション（仮称）」を軸に、さまざまな課題を解決し施策を進めるには、やはり市民の皆さんの理解と協力が不可欠です。行政まかせにするのではなく、行政とともに市民の皆様が、ふるさとの素晴らしい生物多様性の保全を気遣い、それぞれの立場でふるさとのために行動して下さることがいすみ市の生物多様性と子どもたちの未来を支えます。

豊かな生物多様性が、私たちの幸せをずっと支えてくれることでしょう。

